

教育訓練点検

築城



皆さんこんにちは。お話しします。今回は、私が受検した教育訓練点検について

は航空気象群教育訓練点検を受検しました。私は、今回が初めての受検だったため、緊張というよりは、どのような内容なのかという好奇心が勝つており、本番前は高ぶる気持ちを抑えられずいました。点検本番は、初日の午前から隊容点検が行われました。入念に準備をしていたため緊張はしていませんでしたが、事前に想定していたため驚きでしたが、普段通り落ち着いて展開することができ、これも事前に準備をしてい

川崎市市制百周年記念事業 「かわさき飛躍祭」での気象支援

中樞

中樞気象隊は、去る六月二八日(金)及び二九日(土)、川崎市市制百周年記念事業「かわさき飛躍祭」において、ブルーインパルの展示飛行支援のため、ブルーインパル飛行隊から、飛行隊長

多数来場されていますが、中止が伝えられたと残念な思いをにじませていました。翌二九日(土)も朝から雨雲に覆われ、弱い雨が降っている状況で、展示飛行を行えるか心配しながら私たちも会場入りしました。九時頃に雨は止んだものの、十時時点で気象状況は、展示飛行ができるか否かの厳しい状況でした。観測を続ける中、「今日はブルーインパルスは飛びますか?」「お天気は大丈夫ですか?」など、来



場者の方々の質問が次々と我々に対して飛んできました。テレビドラマ等の影響で気象に興味を持っている方が多いのか、我々の周辺には沢山の方々がいて、指揮官のN一尉を筆頭にK二曹と三名で質問に真摯に対応し、自衛隊の広報官としての役割も果たせるかのように機体を左右に揺らしながら入間基地に帰投していききました。会場中の誰もが手を振ってブルーインパルスを歓迎する様子を見ることができました。最後は、指揮官のN一尉が会場の上空に再び現れたので、思わずサプライズに、会場の観客も、驚きながら再び空を見上げ、ブルーインパルス

基地業務隊にサイバー運用小隊が誕生

令和六年三月二二日、組織改編により基地業務隊にサイバー運用小隊及びサイバー運用班が誕生しました。現在は基地内の情報システムのリスク管理を万全とするべく、セキュリティ管理策等の調査及び情報収集、技術支援を担っています。サイバー攻撃の脅威が拡大する昨今、同班の更なる活躍が期待されます。また、改編にあたり、これまでの通信特技員は大半が特技変更となりました。現在もIT分野を中心に専門知識の習得に努めています。サイバー分野においては、来年度以降術科教育も開始予定のほか、他特技からの転換も募集しており、更なる人員の拡充が見込まれています。サイバー運用係長は「リスク管理を行う上で、隊員一人一人の意識向上が必要不可欠」として、強固な情報セキュリティ態勢構築への協力を呼びかけるとともに「努力次第で



気象ブリーフィング 新時代の到来!?

中樞

中樞気象隊は、令和六年二月二日(七)日、横田基地に所在する一部の部隊に対する遠隔気象ブリーフィングを行いました。これは、基地を跨いだ遠隔気象ブリーフィングの初の事例として、記念すべき活動となりました。中樞予報班運用係の百戦錬磨の予報官たちも、初の試みにやや緊張気味でありました



中樞予報班運用係長 M1尉

ることが実証され、新たな時代へ向け、また重要な一歩を踏み出したと言えるでしょう。記念すべき瞬間

現地訓練を終えて

築城

築城気象隊は五月一四日から二十日の間、浜松気象隊へ現地訓練に観測員二名が参加しました。研修内容として主に、遠隔気象支援の見学、飛行学生への気象教育及び気象支援部隊等への研修をさせていただきました。

私にとって、初めての現地訓練であり楽しみな反面、初めての場所でも知り合いもおらず交流を深められるか、そして学んだことを今後活かせるという不安でした。

そんな不安いっぱいですが、気象隊の発信する気象情報の重要性や実際に被支援部隊が各種の気象情報を様々な任務の中でどのように活用されているか理解できました。どの部隊も、気象条件によって飛行運用ができるかどうかが変わるということは同じだと思いますが、航空機の種類や航空機の操縦者によっても、気象条件が異なることが分かりました。例えば、同じ気象条件でも、操縦者が学生であれば、航空機の運用ができません。観測員の観測が重要になることを身をもって感じました。

研修最終日には、中



枢気象隊との遠隔気象支援による、合同の測事態対処訓練を見学させていただきました。どのように遠隔気象支援をしているのか、不測事態が発生した場合における部隊での課題を学ぶことができた。また、どこかの地で

お会いできることを楽しみにしております！

築城 Y士長

教育訓練点検 受検に向けて

松島

松島気象隊は、令和六年六月三日から七日までの間、航空気象群教育訓練点検を受検する予定です。(記事作成は五月下旬です。)

私は個人訓練係空曹として、個人訓練受検

項目の準備にあたっては、常日頃、隊長及び個人訓練係幹部指導のもと業務にあたり、事前準備に追われることなく余裕を持ってこの記事を書くことができている。

M E T T R) の展開に

松島気象隊 A二曹

個人訓練係以外でも全隊員一丸となって受検に向け準備をしています。毎日の終礼時に防衛教養、隊容点検の対策をし、不測事態対処訓練においては全員「前へ」をモットーに隊員

おいても、松島気象隊の精鋭が通常業務をこなしつつ、展開訓練を連日演練しています。

松島気象隊は「優秀」を得るために、隊長の指導方針である「前へ」をモットーに隊員

ルアップして教育訓練点検に臨みたいと思います。

出雲駐屯地 募集広報

美保

が設置され、航空自衛隊からは航空管制、航空機整備、操縦士と並んで気象のブースが設けられました。募集対象者は限られた時間でそれぞれが興味のあるブースを回っており、積極的に職種説明を受ける姿が印象的でした。



四月二十七日、出雲駐屯地にて「第一回出雲駐屯地募集広報の日」行事が実施され、美保気象隊から、気象観測員二名が職種説明を中心とする航空自衛隊の説明を実施しました。

本行事の会場では陸上自衛隊の職種、航空自衛隊の職種のブース

が、今回の機会により、美保気象隊を大いにアピールするつもりで、航空自衛隊での職種の多様性を伝えることができました。

来場者の中には専門的な質問をされる等、優れた将来性を感じる方がおり、質問の回答においてプレッシャーで冷や汗をかく場面もあつて、現役の自衛官として身の引き締まる思いでした。

機会があれば若手隊員の積極的な参加を促していきたいと感じました。

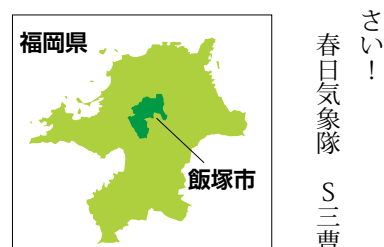
美保気象隊 K2曹

私のふるさと 春日

春日

皆様こんにちは。今回は、私のふるさとである福岡県飯塚市の歴史について紹介します。

飯塚市は福岡県のほぼ中央に位置しています。明治以来、かつて石炭が主なエネルギー資源であった頃、市周



「筑豊炭田」 出典：「wikipedia」

の街の賑わいは今の東京くらい凄かったそうです。(祖母曰く、当時連遺産があるのみです。一方、お菓子は炭鉱閉山後から現在もお、多くの老舗菓子屋が残っており、たくさん市民や観光客に愛されています。

さて、私のふるさと飯塚市の歴史について、近代から現代のご

春日気象隊 S三曹

入間気象隊 懇親会



六年四月十九日に、隊の互助会にあたる武蔵野会が主催する懇親会を開催しました。

本会は合計三七名が参加し、人数が多

く、勤務場所も三か所に分かれているが、隊員同士の交流が少ない者も多

いのですが、今回の懇親会では、それを感じて、新たな仲間の緊張

最後に集合写真を撮影し懇親会はお開きとなりました。写真の中の皆さんはとても楽しそうです！

入間 H士長

季節風をご覧の皆様こんにちは。入間気象隊は新たに五名の仲間が加わり、令和

六年四月十九日に、隊の互助会にあたる武蔵野会が主催する懇親会を開催しました。

本会は合計三七名が参加し、人数が多

く、勤務場所も三か所に分かれているが、隊員同士の交流が少ない者も多

いのですが、今回の懇親会では、それを感じて、新たな仲間の緊張

最後に集合写真を撮影し懇親会はお開きとなりました。写真の中の皆さんはとても楽しそうです！

入間 H士長



第18回 小美玉市民 駅伝競走大会



令和六年二月四日(日)、茨城県小美玉市で「第一八回小美玉市民駅伝競走大会」が開催されました。大会は、

第一部と第二部に分かれ、第二部には、中学生男子の部、一般男子の部、行政区の部が催されました。大会は、



第7航空団、百里救難隊など二十チームが参加しました。

我々百里気象隊からは、S三曹、T二尉、O三曹、T三曹、K士長、S一士の予報班、観測班を中心としたチーム「ピロローズ」と、S一尉、N二曹、K三曹、A三曹、K士長、O士長の総括班、整備班を中心としたチーム「レゾルバーズ」の合計二名で団結を深めるために一般男子の部に参加しました。

T三曹とO士長、第二区のダブルK士長までは、ほぼ同時にゴールし、第三区を走るK三曹とO三曹の間には大きな差が開いてしまいました。第四区を走るT二尉とA三曹の間も縮まるとはならず、この時点で、二十組中レゾルバーズ十位、ピロローズ一八位でした。

が、第五区を走るN二曹とS一士、特に七月から百里気象隊の仲間になったS一士の奮闘もあり、ピロローズの順位を四つ上げて一四位、レゾルバーズは八位で第六区アンカーを走るS三佐とS一尉へ



令和六年度 府中市 くらやみ祭

令和六年四月三十日(五月六日の間)、府中市にある大國魂神社で、くらやみ祭が行われました。くらやみ祭は、武蔵国(現在の埼玉県、東京都及び神奈川県周辺)のお祭を起源とし、東京都指定無形民俗文化財となっていて、千年以上もの歴史をもつ由緒あるお祭りです。二〇一九年にはクラウドファンディングによる映画化も行われています。

「くらやみ」と呼ばれる八基の神輿が、大太鼓の音と共に提灯の光を頼りに導かれ、本殿からおよそ七百米先の御旅所(霊を安置させる場所)へ渡御します。そして翌日の早朝に再び大太鼓に導かれ、各町内を巡行した後、本殿に還御(「お人のお客さんで賑わいます。非常に活気があ

るお祭りなので、皆さんも機会がありましたら、ぜひ一度足を運んでみてください。

中樞気象隊 H3曹

令和六年四月三十日(五月六日の間)、府中市にある大國魂神社で、くらやみ祭が行われました。くらやみ祭は、武蔵国(現在の埼玉県、東京都及び神奈川県周辺)のお祭を起源とし、東京都指定無形民俗文化財となっていて、千年以上もの歴史をもつ由緒あるお祭りです。二〇一九年にはクラウドファンディングによる映画化も行われています。

「くらやみ」と呼ばれる八基の神輿が、大太鼓の音と共に提灯の光を頼りに導かれ、本殿からおよそ七百米先の御旅所(霊を安置させる場所)へ渡御します。そして翌日の早朝に再び大太鼓に導かれ、各町内を巡行した後、本殿に還御(「お人のお客さんで賑わいます。非常に活気があ

るお祭りなので、皆さんも機会がありましたら、ぜひ一度足を運んでみてください。

中樞気象隊 H3曹